

道の駅「南えちぜん山海里」は「ひまわりプロジェクト」を
応援しています！

『東日本大震災のあと、福島を元気づけようと、全国から
毎年たくさんの「ひまわりの種」が福島へ送られています』

「ひまわりプロジェクト」とは？

～災害を機にスタートした「ひまわりプロジェクト」～

障がいを持つ若者と、農家の方々が協力しながら農作物を栽培する活動が、福島県で行われており、その中のひとつに「ひまわりを栽培し、油を製品化するという試み」も含まれていました。

しかし、ひまわり栽培がまさに本格的に始まろうとしていた2011年の春、原発事故で状況は一変。土壌汚染が明らかな土地で、ひまわり油の生産や販売を行うにはあまりにも困難で、やむを得ず断念することになってしまいました。

そんな中、県外の支援者の方々との交流を通じ、「私たちがひまわりを栽培し、ひまわり油の原料になる種を送り返しましょう」という温かい提案を受け、NPO法人シャロームによって、障がい者支援のための授産事業および福島と全国の支援者との絆事業として「ひまわりプロジェクト」がスタートしました。

ひまわりオイル「みんなの手」

全国の支援者がヒマワリを育て、実った種をプロジェクト実行委員会に送付。集まった種から、薬品を使わない伝統的な圧搾絞りの技法で油を搾り、福祉施設の授産製品として、ひまわり油「みんなの手」が製造・販売されています。

また、その収益金は障がい者の支援や、福島の子どもたちの社会活動の資金などに活用されています。